

上峰中学校道徳授業構想シート

10月 21日(水) 1年 B組

◆主題名

差異と寄り添う

C-18 国際理解、国際貢献

教材名・出典
違いを乗り越えて

本時のねらい
多文化理解を通して、自身と異なる文化、習慣、思考への理解を深める。

生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容

Link

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

①「私」は、Aさんが刺身を食べ続けるのを見てどのように思ったのだろう。

②そば屋でちょっとしたけんかになり、「私」がすっきりしない気持ちになったのはなぜだろう。

◆テーマ (中心となる発問)

「大切なのは気持ち」だと気づいた「私」はどんなことを考えたのだろう。

ねらいとする価値に迫るために

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

◆学び合う活動のねらい

変容をねらう 多様さに気付かせる 自分の考えを深めたり広げたりする

その他()

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のものさし 5 ICT 6 その他

学び合う活動のスタイル

1 フリー() 2 ペア 3 グループ 4 その他

◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

【授業後の反省】

中心発問までの時間を意識し展開を考えたことで、学びあいの時間を十分に設けられたと感じた。しかし、導入の段階で、主人公の「私」の立場に立って考えることに難しさを抱える生徒が少なからず存在し、その生徒に対する働きかけ、そして、そういった生徒が存在するということは、全体に対しても、もっと伝わりやすい「発問に対する場面設定」の方法があったのではないかと感じた。学び合い活動において、「男女2名に必ず聞く」というルールを設定し、行ったところ、ほとんどの生徒が活発に話し合いが行えていたので、今後も活動に取り入れたいと感じた。